

音と光で包まれた舞台で繰り広げられる、現代いけばなの最高峰  
群馬県初開催 草月流「家元いけばなLIVE」  
2014年10月4日(土)  
高崎市 群馬音楽センター

いけばな草月流(本部:東京都港区赤坂)は、高崎市・群馬音楽センターにて、草月流第四代家元・勅使河原茜による「家元いけばなLIVE IN 高崎」を開催いたします。

勅使河原は、2020年東京オリンピック誘致の国際オリンピック評価委員会(IOC)メンバーをもてなす首相主催の公式晩餐会で、いけばなパフォーマンスを行い高い評価を受けました。そしてこの度は「いけばなLIVE」という新しいかたちをとって、さらにダイナミックにいけばなパフォーマンスを展開いたします。

■いけばなの“いま”を伝える、「いけばなLIVE」

いけばなは、完成した作品を鑑賞するだけのものではありません。植物素材が人の手によって変化し、いけばなが形作られていく\*、こうしたパフォーマンスを楽しんでもらうのもいけばなの醍醐味の一つです。この度の「いけばなLIVE」は、このデモンストレーションに音と光、舞台美術の要素を加え、いけばなを総合芸術として位置づける新しい試みです。

「いけばなLIVE」を通じて、草月流いけばなの最先端を感じていただき、ひとりでも多くの方にいけばなの魅力を発見していただければ幸いです。

※草月流では、見ている人の目の前で制作過程を展開するいけばなを「いけばなデモンストレーション」と呼んでいます。



【舞台いっぱいに展開したダイナミックな大作】



【舞台上で作品をいける家元・勅使河原茜】

～2010年7月「家元いけばなLIVE IN 広島」より～

■「家元いけばなLIVE IN 高崎」の特徴

前半は主に、DJ・Toshiyuki Goto と VJ(ビジュアルジョッキー)・高橋銀次、Cinematographer・須藤健二が創るLIVE空間に海外での活動をはじめ多方面で幅広く活躍中の加藤久美子師範・小池萩霞師範・日向雄一郎師範がいけばなと音楽と映像のコラボレーションに挑みます。後半は、家元・勅使河原茜が「日本の四季」「ことば」「花のちから」「仲間」などをテーマに、群馬シティフィルハーモニーオーケストラの奏でる名曲にのせて新しいいけばなのかたちを紡ぎ出します。中作から大作まで全てのいけばな制作過程もご覧に入れます。

このリリースに関するお問い合わせや取材などについては下記までご連絡ください。

一般財団法人草月会 広報部

担当:片山・横内/pr@sogetsu.or.jp TEL:03-3408-1158/FAX:03-3405-4947

## ■家元いけばなLIVE IN 高崎 開催概要

【名称】 家元いけばなLIVE－花は心 草月の原点から今へ  
【開催日時】 2014年10月4日(土)  
【開催時間】 13:00～15:45(12:00開場)  
【イベント会場】 高崎市 群馬音楽センター  
〒370-0829 群馬県高崎市高松町 28-2  
【出演】 勅使河原茜(草月流家元)・加藤久美子・小池萩霞・日向雄一郎  
【主催】 一般財団法人 草月会  
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21

### 【出演者・プロフィール】

#### ●勅使河原茜(てしがはら あかね) 草月流第四代家元

1960年、第三代家元で映画監督の勅使河原宏の次女として生まれる。「自由な創造」を大切にする草月のリーダーとして、みずみずしくおおらかないけばな作品を発表し、国内はもとより世界各地でデモンストレーション、ワークショップなどを行う。また、4年間の幼稚園教諭の経験を生かして、いけばなを通じ子どもたちの感性と自主性を育む「茜ジュニアクラス」を開講するなど、現代の多様化する生活スタイルにふさわしい新しいいけばなの可能性を求め、舞台美術、ジュエリーデザインなど多方面で創造活動を展開している。2008年より、舞台空間に花をいけていく様子を音楽や光とともに演出するパフォーマンス「いけばなLIVE」を全国各地で上演中。



#### ●加藤久美子(かとう くみこ) 草月流本部講師

1980年草月流入門。'98年長野五輪にてIOC本部の装飾を担当。以降、ドラマ「黒革の手帖」をはじめTV番組の美術を数多く手掛ける他、総理大臣夫人主催の懇親会にてデモを行うなど多方面で活躍。国外では、いけばなインターナショナル各国支部を訪問。'13年LAへ茜家元に随行しワークショップを担当。

#### ●小池萩霞(こいけ はぎか) 草月流本部講師

1968年草月流入門。第二代家元勅使河原霞に師事。'86年第68回草月展新人賞受賞。以降、個展、グループ展、社中展などを開催する一方、富士ゼロックス等の企業オフィスやショールーム、阪急やルミネ等の商業施設にディスプレイを行う。いけばなインターナショナル各国支部にてデモやワークショップの開催多数。

#### ●日向雄一郎(ひなた ゆういちろう) 草月流師範

祖父と父に花を学ぶ。2001年草月新人賞を受賞後、空間と植物が織りなす「間」を紡ぎ出し、独自の視点でいけばなの住処を提案。国際規模のイベントに於いて数々の作品を発表する一方で、ハイブランドホテル、商業空間の演出を手掛け、新世代のいけばな師範は“花美術家”としての独自のポジションを築き現在に至る。

### 【参加演奏団体】

#### ●群馬シティフィルハーモニーオーケストラ 指揮: 櫻屋敷滋人

1986年に「高崎市民オーケストラ」と「前橋フィルハーモニーオーケストラ」が合同して結成。年2回の定期演奏会のほか、室内楽演奏会、合唱団など他団体との共演、県内各地からの依頼演奏会出演等、幅広い活動を続けている。'94年群馬県文化奨励賞、'96年群馬県表彰、'01年文化庁地域文化功労者表彰を受賞。

### ■団体概要

【社名】 一般財団法人草月会  
【代表】 理事長 勅使河原茜(草月流家元)  
【所在地】 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21  
【事業内容】 いけばな教室や展覧会の開催を通していけばなの普及を行う。  
いけばな指導の有資格者が加入する「草月指導連盟」の管理及び運営。

このリリースに関するお問い合わせや取材などについては下記までご連絡ください。

一般財団法人草月会 広報部

担当: 片山・横内 / pr@sogetsu.or.jp TEL: 03-3408-1158 / FAX: 03-3405-4947